

Ⅱ 委託研究課題概要

＜研究概要様式＞

【2023年度採択 連携研究スキームによる研究】

課題番号(e-Rad 課題 ID): 23837277

研究テーマ:「我が国の持続的で多様な農業に関する研究」

委託研究課題名:「都市・都市近郊における持続的で多様な農業の役割に関する研究」

1 研究実施期間(西暦):2023年度～2025年度(3年間)

2 予算規模:9,983,800 円(2023年度)

3 代表機関・役職・研究開発責任者 : 千葉大学 教授 吉田 行郷

4 研究の目的・達成目標

重要性が増している都市や都市近郊における持続的で多様な農業の役割(体験農園による都市住民の健康増進、日本型 CSA による地産地消拡大効果、都市型農業公園による災害対応等の多面的機能等)について、理念的・定量的に整理し、今後必要な施策を解明する。

5 研究の内容および実施体制

① 体験農園等による食と農が持つ癒し機能の効果的な発揮に関する研究

都市や都市近郊にある体験農園及びその関連施設における障害者やひきこもり等も含めた都市住民に対する癒し機能を把握し、その効果的な発揮のために必要な対応策や体制の整備について明らかにする。
(千葉大学園芸学研究院)

② 体験農園のユニバーサル化に関する研究

全国の先進的なユニバーサル農園と一般的な体験農園について、農園の設立の目的、実際の作業環境や施設環境、農園の運営者・支援者・利用者、農園がもたらす健康改善効果について比較分析を行うとともに、海外でのケアファームの形成過程も踏まえて分析を行うことで、既存の体験農園をユニバーサル化していくために必要な要件を解明する。

(兵庫県立大学大学院、神戸学院大学、農研機構・西日本農研センター)

③ 高齢社会における新しいケアの創出という農の役割に関する研究

1)認知症高齢者等を地域社会に包摂する場としてのケアファーム、2)医療機関での認知症診断後の支援の場としてのケアファーム、3)長期入院を余儀なくされている人の QOL 向上のためのケアファーム、のための実践研究
(東京都健康長寿医療センター研究所)

④ 日本型 CSA 等による都市住民が支える有機農業の展開に関する研究

都市及び都市近郊で広がる CSA 等の実践に見られる都市住民による農産物の買い支え、さらに農業経営への関与など生産者とのつながりの実態を把握し、有機農業の展開要因と可能性、その社会的意義を明らかにする。
(千葉商科大学人間社会学部)

⑤ 都市型農業公園等による災害対応等の多面的機能に関する研究

都市型農業公園等による平時での多様な主体との農業活動、食農教育や地域コミュニティ活動が、災害時の誰も取り残さない避難行動、自助共助活動や災害に対応・回復するレジリエンスカへと展開する防災機能を解明する。
(東京農業大学地域環境科学部、千葉大学園芸学研究院)

6 政策研究との連携の意義、期待される波及効果

政策研による農村地域における研究成果と、都市農業に知見のある当研究グループによる都市や都市近郊における研究成果が合わさることで、初めて日本全体の持続的で多様な農業の役割を俯瞰することが可能になる。

【連絡先:千葉大学 047-308-8916】(代表機関の連絡先)

<研究概要図>

委託研究課題名	都市・都市近郊における持続的で多様な農業の役割に関する研究
---------	-------------------------------

